

令和5年度 年間指導計画（2年保育 5歳児）		年間教育目標 5歳児	・友達といっしょに園生活を楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組みと共に、主体的に行動して充実感を味わう。 ・自然や身近な事象に好奇心や探究心をもち、意欲的、創造的に遊びながら豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わう。 ・社会生活に必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。				
期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～10月）	4期（11月～12月）	5期（1月～3月）		
	○新しいクラスに慣れ年長児として喜びを感じながら、自覚をもって個々が力を伸ばしていく時期	○友達の中で自分なりの考えを出し自信をもって遊びながら、仲間意識が育っていく時期	○共通の遊びを通してイメージや考えを出し合い、友達関係を深め意欲的に遊びを進めていく時期	○友達と共通のイメージをもち、積極的に遊びを創り出し、主体的に進めていく時期	○入学への期待感をもつと共に、協同して遊びや活動を進めていく時期		
幼児の姿	○年長組になった喜びや期待をもち、年少組の世話をしたり手伝いを進んでしたりする姿が見られるが、環境の変化に不安や緊張感をもつ子もいる。 ○年少組で体験した遊びを友達と一緒に楽しんだり、春の自然に触れながら、遊んだりしている。 ○友達と関わりながら遊ぶようになるが、主張がぶつかったり考えが伝わらなかつたりする姿が見られる。	○一日の生活リズムがわかり、自分なりに見通しをもって進めていこうとする。 ○身の回りの自然事象や物物に対して興味や関心が高まり、友達といっしょに見たり考えたりする姿が見られる。 ○気の合う友達といっしょに考えを出し合い、遊びを進める中で、お互いの思いが通じず、遊びが途切れてしまうことがある。	○友達と運動的な遊びに取り組み、勝敗への関心が高まってくる。 ○秋の自然に関心をもち、自然に触れることでイメージを膨らませ目的をもって遊ぶようになる。 ○遊びの中で自分の考えを出し、じっくりと取り組んだり試みたりして最後までやり遂げようとする姿が見られる。	○自分たちで積極的に遊びの場を作り、片付けも進んでできるようになる。 ○体を動かして遊びながら自分なりの目的をもち、取り組もうとする。 ○秋の自然物に触れ、遊びの中に取り入れて楽しんだり、収穫の喜びを味わったりしている。 ○友達と共通のイメージをもち、遊びのルールを作りながらいろんな友達と遊ぶようになる。	○1年生になる期待や自覚を持ち、仲間意識が高まると共に、友達とのつながりや生活を共にする喜びを味わっている。 ○自分の目的に向かって、繰り返し挑戦している。 ○自然現象に関心をもち、自分たちで調べたり話し合ったりする姿が見られる。 ○自分の思いを表現しながら友達と相談して工夫したり試みたりして活動を発展させ、創り出すようになる。		
ねらい・内容	○新しい環境に慣れ、進級の喜びを味わいながら年長児としての自覚をもち。 ○友達と一緒に体を動かして遊ぶ喜びを味わう。 ○春の自然に興味をもち、遊びに取り入れ楽しむ。 ○友達といっしょに好きな遊びを楽しみながら試みたり工夫したりする。 ・年下の子供に優しく関わり、親しみをもち、年長になった喜びを味わう。 ・友達と一緒にいろいろな運動遊びを楽しむ。 ・身近な動植物に触れながら、愛情をもって世話をし、親しみをもつ。 ・自然物を取り入れて遊ぶことを通して、自分から気づいたり発見を楽しんだりする。 ・感じたことを自由に描く、作る等して表現を楽しむ。	○自分の力を発揮して運動や遊びに取り組み。 ○夏の自然や身近な動植物に興味や関心をもち、見たり試したり考えたりして遊ぶ。 ○自分の思いを相手に伝えたり、友達の思いを受け入れたりしながら遊ぶ。 ・自分なりに目的をもち、挑戦していこうとする。 ・動植物の世話を通して、命あるものの存在に気づき大切にすること。 ・遊びの中で自分の思いを伝え、相手の気持ちや考えをわかろうとする。 ・見たこと、考えたことをいろいろな材料を使って、工夫して表現する。	○戸外で体を思いきり動かし、友達と力を合わせ、やり遂げた喜びを味わう。 ○秋の自然に親しみ、季節の変化を感じたり自然物を遊びに取り入れたりする。 ○友達と互いに思いやイメージを出し合い共通の目的をもって遊びを進めていく楽しさを感じる。 ・自分なりの目的に向かって力を出し、競い合ったり応援したりして全身を動かして遊ぶ。 ・身近な動植物にかかわり、遊んだり観察したり調べたりして興味をもって親しむ。 ・友達とのかかわり中で、相手の気持ちに気づき受けとめる。 ・遊びに必要なものを適切な材料を考えて使い、工夫して作ったり飾ったりすることを楽しむ。	○いろいろな運動遊びに意欲的に取り組み、友達とルールを守って遊ぶ楽しさを味わう。 ○秋から冬に向かっての自然に興味をもち、遊びに取り入れる。 ○友達と共通の目的をもち、工夫しながら遊びを進めていき、表現する喜びを味わう。 ・遊び方を友達と話し合い、協力したり、ルールを決めたりして遊びに取り組む。 ・自然物を使って遊び、素材の感触や物の性質などに気づいたり調べたりする。 ・友達と表現を考えたり、工夫したりして表現することを楽しむ。 ・いろいろな遊びに意欲的に取り組み、共通の目的に向かってかいっぱい活動する楽しさを味わう。	○自分の力を発揮しながら自信をもって行動し、友達と協力して遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ○身近な事物や自然事象に関心をもち、興味をもって考えたり、試したりする。 ○自分の思ったことや感じたことを意欲的に表現し、友達と共通の目的をもって遊びを進め、やり遂げた充実感や満足感を味わう。 ・自分達で役割を分担したりルールを決めたりしながら、主体的に生活や遊びを進める。 ・冬の身近な事象に関心をもち、それを取り入れて遊んだり、変化に気づいたりする。 ・考えたこと感じたことをわかるように話したり、相手の話を聞いて受け入れること。 ・友達同士お互い認め合いながら、一緒に遊ぶ充実感や達成感を味わい、喜びを感じる。		
環境構成と教師の援助	○一人一人が充実して遊べるように、興味に応じた環境を構成していく。 ○年少児とかがわることが出来る場を計画的に作っていく。 ★年長組になった喜びと不安に揺れ動く気持ちを受け止め、一人一人に丁寧に応じて援助する。 ★友達と体を動かし、戸外で十分に活動できるよう環境を整える。 ★何かに挑戦したいと思っている気持ちや役にたいたいという思いを大切にしていく。 ★身近な自然とかがわりながら直接体験ができるよう、子供のつぶやきや驚きなどを受け止め共感する。 ★年長児として自分で考え、判断して行動できるよう、友達と話し合いができる機会を大切にすること。	○身近な自然物と触れ合う中で、自分達の興味や疑問を追究したり、継続して成長を見守ったりすることができる環境を構成する。また、生命の大切さに気づくことにつながる様々な体験ができる機会をつくる。 ★室温や通風に配慮し、水分の補給に心がけ、熱中症予防をする。 ★幼児の発見や感動を受け止め共感すると共に、遊びがより楽しくなるようアドバイスしたり、友達と思いを出し合ったりできるよう援助する。 ★友達との気持ちの行き違いで味わる葛藤体験に十分付き合い、自分で気持ちの切り替えができるよう援助する。	○興味や活動意欲の高まりを受け止めて、十分に活動できる広い場を確保する。 ○苦手なことや新しいことに挑戦する子どもの姿を認め、励ましたり援助したりして最後までやり遂げる充実感を味わえる環境を再構成していく。 ★自然物を使って遊んだり収穫したりする中で子供が気づいたり感じたりしたことを共感していく。 ★子供同士で遊びを考え、話し合い進めている姿を大切に見守り、遊びが行き詰まった時は、アイデアを提案して発展するよう援助する。 ★活発に活動する中で、お互いの思いを主張するようになるが、相手の思いにも気づけることばがけをしていく。	○一人一人の多様な取り組みを受けとめ、知的好奇心や探究心が満足できるように、様々な素材を用意する。 ○友達と思いを出し合って遊びが進められるよう環境を工夫し構成していく。 ○初冬の自然に触れ、自然物を生かしていろいろな表現を楽しめる機会をつくる。 ★自分たちで遊びに必要な場作りをし、目的に向かって考えたり工夫したりしながら充実感がもてるようにする。 ★秋から冬の自然に興味をもつよう、教師もその変化に共感し、さらに興味や関心を深める。 ★一人一人のイメージを受けとめ、実現できるように援助し、自分たちで取り組んだという充実感が味わえるようにする。	○友達やクラス全体で、創作や表現を楽しめるような活動を取り上げ、協同する楽しさや充実感を味わえるような機会を設ける。 ○自然と触れ合うチャンスを大切にし、発見したり試行錯誤したりする楽しさを十分に味わえるように環境を工夫する。 ★一人一人が園生活を通じて培われた力や自信、誇りをもって就学を迎えられるようにする。 ★友達とルールや役割を相談しながら、遊びを進めている姿を大切に、友達とのつながりを深め、残り少ない園生活を楽しめるようにする。 ★就学に向け、安心して小学校生活に移行できるよう一人一人の実態に即して一日の生活のリズムを整えていくようにする。		
予想される活動	・固定遊具（鉄棒・登り棒・太鼓橋・雲梯） ・砂場遊び（山作り・落とし穴作り） ・伝承遊び ・草花遊び ・草花でごちそう作り ・虫探し（ダンゴムシ・テントウムシ） ・飼育（カメ・ダンゴムシ・カブトムシの幼虫） ・ダンゴムシの家作り ・マップ作り ・ごっこ遊び（ままごと・お家ごっこ） ・製作遊び（アイテム作り） ・大型積木遊び（家作り・迷路遊び）	・固定遊具 ・砂場遊び（川作り・ダム作り・トンネル作り） ・泥だんご ・草花ジュース作り ・ジュース屋さんごっこ ・虫探し（ダンゴムシ・チョウの幼虫） ・飼育（カブトムシ・カタツムリ・チョウの幼虫・サナギ） ・むしむしなかよしランド ・写真屋さん ・転がしゲーム ・スイーツやさん ・キャンプごっこ	・フラフープ ・縄跳び ・長縄跳び ・投げドッジ ・鬼ごっこ（高鬼・氷鬼） ・木の葉や木の実で遊ぶ （ごちそう作り・レストランごっこ ・ドングリゴマ・ドングリ人形） ・虫探し（バッタ・キリギリス・コオロギ ・カマキリ 等） ・飼育（スズムシ・バッタ・コオロギ等） ・射的 ・的あてゲーム	・縄跳び ・サッカー ・投げドッジ ・鉄棒（逆上がり） ・鬼ごっこ（かくれ鬼・だるまさんがころんだ） ・合奏 ・劇遊び ・的あて ○たかすおたのしみらんど ・バスケットゲーム ・転がしゲーム ・ステージ遊び	・ドッジボール ・サッカー ・氷鬼 ・氷作り ・凧あげ ・正月遊び（カルタ・すごろく・こま回し） ・伝承遊び（あやとり・お手玉） ・郵便ごっこ ○たかすうきうきらんど ・ホッケーゲーム ・キックゲーム ・いろいろクイズ ・ステージ（こままわし・あやとり・ハンドベル）		
行事	入園式 健康診断 参観日 遠足	参観日 給食参観 お茶会 キッズサッカー	にこにこ運動参観日 キッズサッカー 遠足 いもほり	にこにこ発表参観日会 参観日 焼いも バイオリンコンサート	参観日 キッズサッカー お茶会 保育園との交流 修了証書授与式		
学校保健計画	・健康診断を行う。（検尿、内科、眼科、歯科、耳鼻科） ・手洗い、うがい、消毒、マスクの着用などを行う。 ・朝夕、天候により気温差が大きいので、衣服の調節や水分補給などの声かけを丁寧に行う。	・歯の健康についての紙芝居を読んだり、丁寧な歯磨きの仕方などを知らせたりする。 ・水分や休息をとり熱中症対策をすることや、汗の始末をすることの大切さを知らせる。 ・水遊びやプール遊びの健康カードを準備する。	・生活習慣を確認しながら見直しをしていく。 ・水分補給や休息、汗の始末や衣服調節の大切さを知らせ、自分で進んでできるようにしていく。	・手洗い、うがい、消毒、マスクの着用の大切さに気付き、自ら健康に過ごそうとする意識がもてるようにしていく。 ・保育室の換気や湿度に留意し、感染症の予防に配慮する。	・いろいろな感染症が流行する時期なので、教師間や保護者との連携を密にして、子供の体調変化に留意する。 ・就学に向けて、生活リズムの見直しや必要な準備などを保護者と確認していく。		
学校安全計画	・園内外の環境や遊具の点検、整備、清掃を行う。 ・園内の安全な生活の仕方について知らせる。 ・災害、緊急時の連絡方法や避難方法を確認する。 ・交通安全教室（備南自動車学校）に参加し、交通ルールを知らせる。	・プールでの約束を徹底するとともに、安全面、衛生面の管理をする。 ・雨天時の安全な生活の仕方を子供と話し合う。 ・避難訓練（火災）を行う。	・防災の日をきっかけにして、災害時の避難の仕方や身の守り方を再確認していく。 ・避難訓練（地震）に参加する。	・避難訓練（火災）を行う。消防署の方からの指導を受け、防災意識を高める。	・交通安全教室を通して、道路の歩き方や交通ルールを再確認し、安全への意識がもてるようにする。		

